

詫間

広報紙 2013. 6 第2号

まちづくり

発行 平成25年6月1日
編集 まちづくり推進隊詫間 三豊市詫間町詫間1338番地13 ☎ 83-3639 <http://takumatai.ashita-sanuki.jp/>



発足二年を迎えて

まちづくり推進隊詫間

理事長 宮川 正夫

昨年設立以来一年を経過し、愈々二年目を迎えることになりました。まちづくり推進隊は、市内各町もこの四月から一斉に活動開始したところでございます。

推進隊詫間は、昨年四月他町に先駆けてモデル地域として活動を開始し、詫間支所から引き継いだ移譲事務の執行、自主事業・各種イベント事業を実施し、さらに、昨年十一月には、健康度向上部会・安全度向上部会・魅力度向上部会の三部会を立ち上げ、各部会とも、三回く四回の討議を重ね二十五年度の自主事業の草案づくりに取り組んでまいりました。

今年度は、三豊市の地域内分権元年です。一人ひとりの「市民力」と旧町時代から養われた「地域力」が連携することにより、新しいコミュニティ作りを展開していかなければなりません。

今後他の六町のまちづくり推進隊と連携を密にして、三豊のまちづくりを推進し、本推進隊が活力ある地域づくりの核として、又、住民によるまちづくりの担い手として、皆様と共に力を合わせて頑張りたいと思います。

二年目を迎えた推進隊説間

平成二十五年度通常総会が開催されました。

総会は、4月21日福祉センターホールで開催され、平成24年度の事業報告や収支決算が承認されると共に、25年度の事業計画（案）並びに収支予算（案）が審議され原案通り承認されました。

今年度の主な事業計画としては、三豊市説間支所から引継いだ移譲業務の他、推進隊独自のまちづくり事業として

- 環境美化活動推進事業
 - 自主防災活動推進事業
 - まちづくり活動助成事業
 - 高齢者世帯住宅火災警報器設置支援事業
 - 健康づくり農園の開設
 - 里山巡りで健康づくり
 - がん検診の推進及び健康講演会の開催
 - 人材バンク登録制度の創設
 - 瀬戸内国際芸術祭支援事業
 - 広報・公聴活動の推進 等があります。
- これらの事業につきましては、会員の皆さんで構成された三つの部会で意見を出し合っって企画検討されたものです。

これから事業実施に向けて、多くの皆様の参加を頂き取り組んで参ります。貴方の参加をお待ちしております。

◎地域の活動を応援します。助成事業申請受付中！

この事業は、自治会等、各種団体が取り組む自主的なまちづくり活動や地域の活性化に資する事業に対して、一件十万円を限度に予算の範囲内で助成金を交付し、地域に根ざしたまちづくりを支援する事業です。この事業を希望される団体は、予め申請が必要です。

※助成金の交付手続きは次の通りです。

- ① 交付申請書を提出
- ② 理事会で審査し、交付の可否を通知
- ③ 事業に着手したら助成金(概算)を請求
- ④ 事業が完了したら実績報告書を提出
- ⑤ 助成金を確定し交付金を精算

※第一次受付締め切りは、七月末です。

◎もう設置しましたか？火災警報器！

平成23年6月から、全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられました。「取り付けたいが、自分で取り付けることが困難」な高齢者世帯（75歳以上の一人暮らし並びに80歳以上の夫婦世帯）を対象に取付支援を計画しています。

◎人材バンク登録制度を創設

さまざまな特技や能力、豊富な経験を生かしてボランティア活動等に協力していただける方を、まちづくり推進隊説間人材バンクに登録します。

あなたの声をまちづくりに！

昨年、「行政コストを削減しながら、地域の活性化を図る」ことを目的としてスタートした三豊市の「まちづくり推進隊」。いよいよ今年度から、他の6町に於いても活動が始まりました。

まちづくり推進隊説間では、新しいまちづくりに向けて、会員の皆さんによる三つの部会を設けて検討して参りました。

「安全度向上部会」

・防災、交通安全、防犯、ごみ問題等環境整備に関するまちづくり

「魅力度向上部会」

・高齢者対策、子育て支援、青少年の健全育成等に関するまちづくり

「健康度向上部会」

・健康づくりや生活に関するまちづくり

部会では、部会員の皆さんの活発な意見が出され、毎回熱心な討論が続きました。

「私達が出来ることが、私達で出来ることは、地域で出来ることは、地域で。」こうした意見は、今年度の事業計画に全て反映されました。



まちづくり推進隊説間・仁尾 合同研修会

会員を募集しています！

まちづくり活動に関心のある方へ、入会申込書をお送りします。詳しくは、まちづくり推進隊説間へご連絡ください。 ☎83-3639

交通安全キャンペーン

交通死亡事故ゼロを目指して、4月10日(水)交通安全キャンペーンがありました。交通指導員や交通安全母の会の皆さん他、約50名の方が参加して通行者や通勤の車に交通安全を呼びかけました。



町内一斉環境美化活動

まちづくり推進隊詫間の自主事業として、環境啓発月間である7月と12月に実施する町内一斉環境美化活動。第二回目が12月9日(日)にありました。ゴミ問題をはじめとする環境問題について、共に考え、自主的に行動するこの活動。今回もたくさんの皆さんが活動に参加されました。

その結果、一一五〇kgのゴミが集まりました。今年度は、7月14日(日)と、12月8日(日)に計画しています。

「きれいな町 詫間」を目指し、たくさんの方のご協力をお願いします。



詫間町防災フェスタ2012

今回で二回目の開催になる「詫間町防災フェスタ」。「自分の身は、自分で守ろう」をスローガンに、地震体験や、AED講習、シートベルト効果体験、非常食の試食など防災を身近に感じる体験に約七〇〇人が参加して二月に行われました。

消火器体験や防災グッズ・非常食展示でも、「備える」ことの必要性を多くの方が感じた一日となりました。



また防災講演会では、「私たちの危機管理」について、丸亀市川西地区自主防災会の岩崎正朔会長に、「東日本大震災体験発表」を、三観広域北消防署の佐倉文明予防係長を講師に迎え、体験談を交え、具体的な内容でわかりやすくお話しいただきました。万が一、もしものことが起こったら、まずは自分の身を守り、落ち着いて行動すること、ご近所で声をかけあい、安全な場所へ避難することなど、いざという時に、防災グッズだけでなく心にも「備え」を常に持つておきたいものです。



「防災フェスタ」当日は、参加者の皆さんに、会場内をまわってのスタンブラリーや、アンケートにご協力いただきました。アンケートでは、約150人の方からフェスタへの感想だけでなく、ご自宅の防災対策についても回答をいただきました。

半数以上の方が、住宅用火災警報器・消火器を設置されており、七割の方が、非常持ち出し袋を設置・設置検討中と、自宅での防災への第一歩である「自分の身を守る」を感じる結果となりました。ただ、家具転倒防止器具については、未設置・設置検討中が八割を占め、二割のお宅にしか設置されていないことがわかりました。

フェスタ全体のご意見では、ほとんどすべての方が、「防災意識が高まった」と感じた一日となりました。その他、

- ・ 色々な体験ができ、防災についての意識・知識を持つ必要性を感じた
- ・ 地震体験車ではなかなかできない揺れの体験ができ、震度六の揺れの大きさにびっくりした
- ・ 試食コーナーが少し狭かった

等のご意見をいただきました。今後の防災フェスタへの要望としては、

- ・ 更なる体験コーナーの充実
- ・ 防災訓練や避難訓練など自主防災組織の充実
- ・ 自分の住んでいる地域で地震や津波が起こった場合、どうすればいいか教えてほしい

などに多数のご意見がありました。

今回は、今秋に「詫間町防災フェスタ」を開催予定ですので皆さんの意見を取り入れ計画していきます。



紫雲出山桜まつり

4月14日(日)、約六〇〇人が参加し、紫雲出山桜まつりが開催されました。今年は桜の開花が早く、花びらが舞い、小さな葉が芽吹き始めていました。山頂での桜まつりは暖かい春の日差しの中、桜と共にたくさんの方が、三味線ライブ、マジック・バルーンショー、小動物と触れ合える「ふれあい動物園」を楽しんでいました。



花と浦島イベント実行委員会



フラワーパークうらしまの春は、キンセンカとマーガレットが咲き、明るく華やかな時。町内の小学生の花和紙体験や、幼稚園の花摘み体験では、自然の中で、子供達の生き生きとした笑顔が輝やいていました。また花摘みイベントにも雨の中たくさんの方が来場され、多くの人が、「日本一の花 マーガレット」に触れた一日となりました。

三豊市自治会連合会 詫間支部

自治会間の連携を密にし、相互に協調し、地域社会の発展と福祉の向上に寄与するため活動する、三豊市自治会連合会詫間支部の平成25年度の総会が、4月20日(土)開催されました。

総会では、詫間町61自治会の内、39人の新しい自治会長さんも出席し、昨年度の事業報告、決算報告に続いて役員選出や事業計画案等が協議されました。

今年度は、主に新しい自治会長さんを対象に研修会を開くことが決定され、「自治会とは 自治会長の役割は」をテーマに自治会活動の実際について研修会が5月26日(日)実施されました。

また、町内の福祉まつり、港まつり、防災フェスタ等イベントにも積極的に参加・協力していくことに決まりました。



当日は、三豊市から7月の参議院選挙から適用する詫間町の投票区の再編、9月の三豊市震災対策訓練計画、インターネット拡張計画等についても説明がありました。

地区衛生組織連合会 詫間支部

衛生組織相互の緊密な連携のもとに、市民の保健増進と環境衛生の向上を図り、健康で住みよい社会の建設に資することを目的に結成された、三豊市地区衛生組織連合会詫間支部の平成25年度総会が、4月20日(土)開催されました。

今年度事業として年4回の資源回収、海岸線のクリーン作戦、家庭排水路清掃活動、不法に投棄される散乱ごみ清掃活動、ごみ集積所補助等の継続実施が決定されました。また、家庭排水路清掃活動の際に出る、汚泥、草等の仮置き場が、今年度から、田井地区の市有地に変更、設置されました。



新しくなった汚泥等仮置場

年4回の資源回収時に同時に出来る、「乾電池・牛乳パック」については、各自治会で指定の回収場所まで持つていくことも決定されました。

三豊市からは生ごみ処理機補助、段ボールコンポスト資材配付、住宅用太陽光発電システム補助、野犬対策事業等の説明、紹介がありました。

新役員

- ・ 支部長 江頭昌道 (大浜)
- ・ 副支部長 眞鍋時敏 (浜田) 谷口勝久 (箱)
- ・ 監事 合田孝志 (須花) 陶山正人 (宮の下)
- ・ 理事 七名 計十二名

新役員

- ・ 支部長 上野茂男 (桃山)
- ・ 副支部長 栗山育郎 (高専) 今井勇 (船越)
- ・ 監事 浜口和子 (新的場) 山下義重 (浜田)
- ・ 理事 七名 計十二名